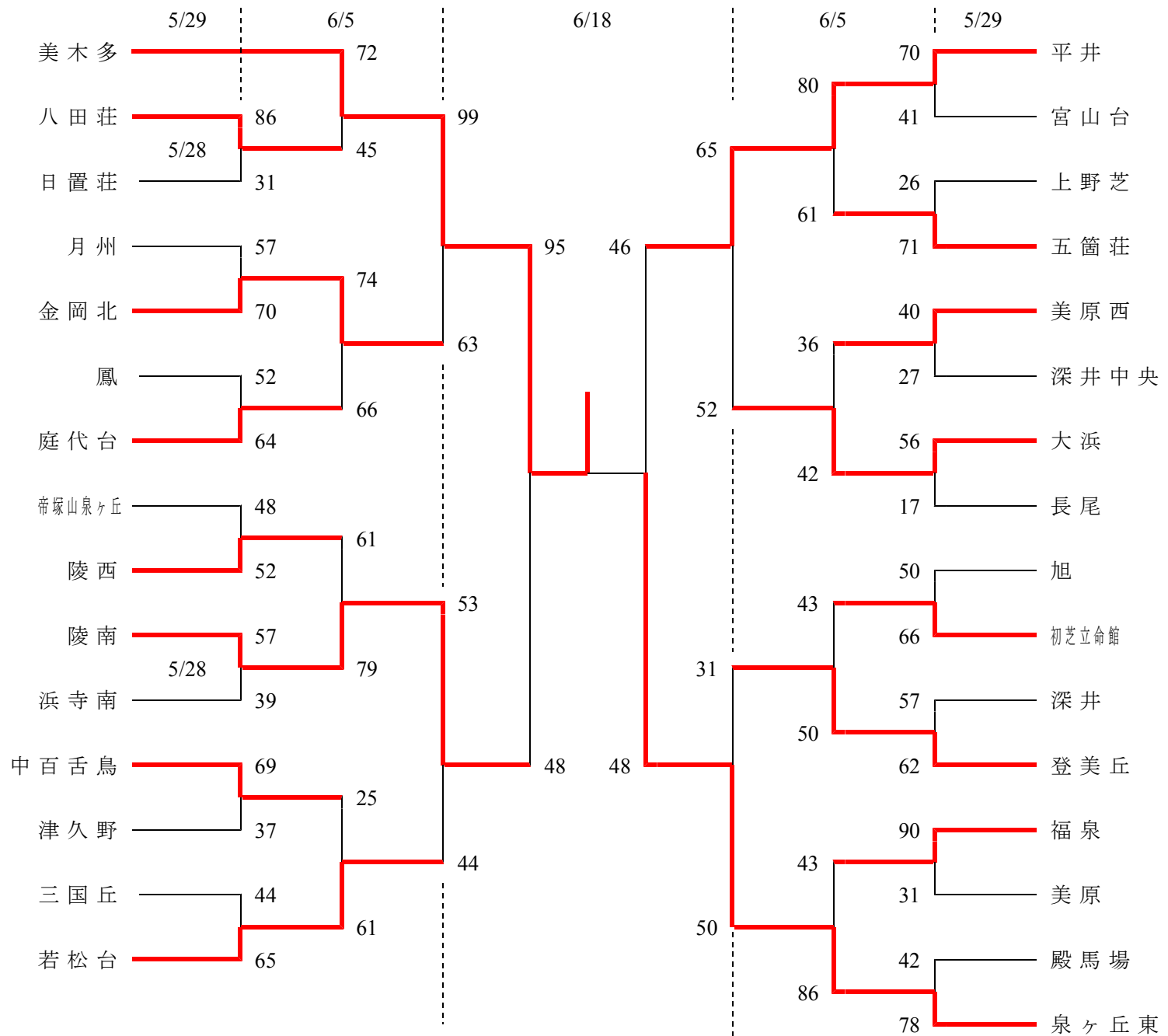


# 2011年度堺市種目別優勝大会

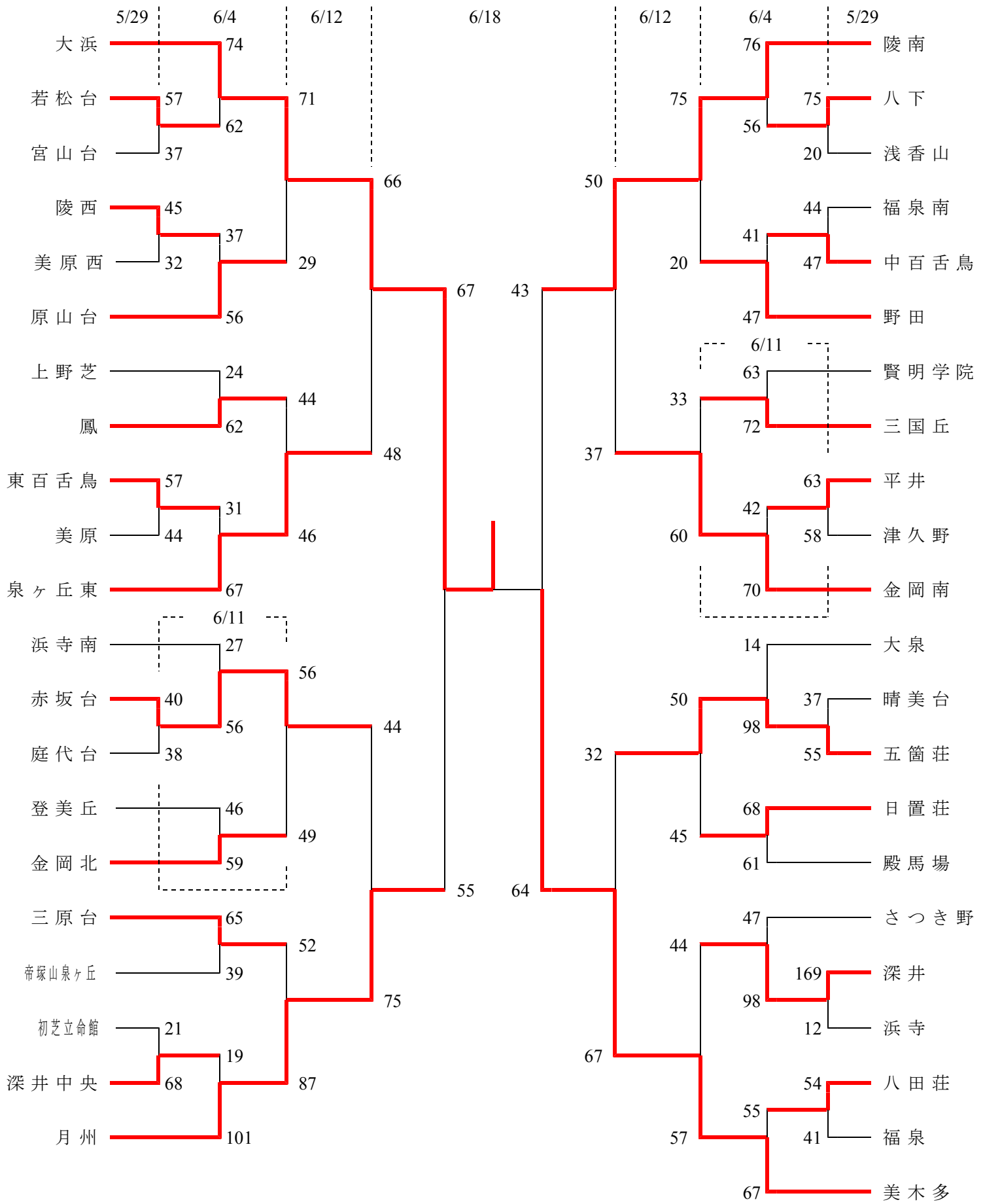
男子の部



決勝

美木多	6	1	-	3	6	泉ヶ丘東
	14	1Q		10		
	17	2Q		10		
	17	3Q		10		
	13	4Q		6		

# 女子の部



決勝

大浜	6	5	-	5	8	美木多
	22	10		9		
	16	20		12		
	13	30		20		
	14	40		17		

## 男子決勝戦評

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。泉ヶ丘東⑤がこぼれ球をひろって初ゴールを決める。その後、泉ヶ丘東は⑥のピック&ロールから攻撃を展開し、8-2とリードする。対する美木多も⑦の1対1を中心に流れを取り戻し、14-10と逆転し第1Qを終了する。

第2Qに入り、泉ヶ丘東はハイポストエントリーからオフェンスを始める。すると、流れが良くなり20-20の同点に追いつく。しかし、美木多は相手のミスを逃さず速攻につなげ、⑩の連続得点などで再びリードを31-20と広げ、前半を終える。

第3Q序盤は両チームとも我慢の展開が続く。しかし、泉ヶ丘東④がゲームを離れた後、美木多は⑦を中心としたバランスのよい攻めでリードを広げてゆく。粘り強いディフェンスとそこからの速い攻めが光り、最後は61-36で美木多が優勝を飾った。

美木多はハーフコートオフェンス、泉ヶ丘東はアーリーオフェンスを磨き、大阪選手権での活躍を期待したい。

(福嶋、福島)

## 女子決勝戦評

大浜④⑤⑥⑦⑧、美木多④⑤⑥⑦⑨でスタート。第1Qは互いにオールコートマンツーマンでプレッシャーをかける。大浜はオフェンスリバウンドから⑤⑦が得点を重ねる。美木多も⑥がドライブインで対抗するも、大浜ディフェンスに阻まれ、22-9と大浜リードで終える。

第2Qに入ると大浜はディフェンスでがんばりを見せていた④が3つ目のファウルでベンチに下がる。しかし、大浜⑤、⑦がインサイドでのシュートを確実に決め、じわじわと美木多を離して行く。38-21で前半を終える。

後半が始まると美木多がディフェンスでがんばり、ダブルチームをしかける。美木多⑭のシュートも決まりだし、少しずつ差をつめ、51-41で最終Qをむかえる。

第4Qが始まると大浜⑥が連続でポイントを重ねる。両チームともにディフェンスが激しさを増す中で、大浜は⑤、⑦が4ファウル、美木多は④が5ファウルで退場となる。美木多が追い上げをがんばり、⑤のゴール下で5点差まで詰め寄る。ところが、ついには美木多⑤も5ファウルで退場となってしまふ。

終始、大浜は⑦がゴール下を確実に決め続け、美木多に逆転を許さなかった。美木多の追い上げも一歩及ばず、最後は大浜が65-58で逃げ切った。

(山岸、岸田)